

対象教科・科目	単位数	学年
英語コミュニケーションⅠ	3	1

## 1. 学習の到達目標

<b>学習の到達目標</b>	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
<b>使用教科書、副教材など</b>	「ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I」(C I 703) 「ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I 本文学習ノート」(東京書籍)

## 2 観点及びその趣旨

### ① 知識・技能

[知識] 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。

[技能] 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。

### ② 思考・判断・表現

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。

### ③ 主体的に学習に取り組む態度

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて伝え合おうとしている。

## 3 評価方法

授業時のリスニング・リーディング・スピーキング(やり取り)・スピーキング(発表)・ライティング、定期考査提出物

## 4. 評価規準

※評価の基準

知識・技能： 思考・判断・表現： 主体的に学習に取り組む態度

1

1

1

①言語活動の取り組み状況観察(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)

②パフォーマンステスト【Unit Activity の発表、ライティング、Speaking Review Task】(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)

③上記課題等の提出(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度)

④小テスト、中間・期末考査(知識・技能、思考・判断・表現)

学期の評価は、A、B、Cの3段階評価です。 学年末には5段階評価もあります。

対象教科・科目	単位数	学年
論理・表現 I	2	1

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>1. 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。</p> <p>2. コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>3. 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CROWN Logic and Expression I (三省堂)</li> <li>・ CROWN Logic and Expression I サブノート (三省堂)</li> <li>・ CORPUS CROWN English Grammar &amp; Expressions (三省堂)</li> </ul>

2 観点及びその趣旨

① 知識・技能

[知識] 外国語の特徴やきまりに関する事項を理解している。

[技能] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝え合う技能を身につけている。

② 思考・判断・表現

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりしている。

③ 主体的に学習に取り組む態度

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて伝え合おうとしている。

3 評価方法

リスニング・リーディング・スピーキング (やり取り)・スピーキング (発表)・ライティング

4. 評価規準

※評価の基準

知識・技能： 思考・判断・表現： 主体的に学習に取り組む態度

1

1

1

①言語活動の取り組み状況観察 (思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)

②パフォーマンステスト【プレゼンテーション、スピーチ、英語での会話、ライティング】

(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)

③上記課題等の提出 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度)

④小テスト、中間・期末考査 (知識・技能、思考・判断・表現)

学期の評価は、A、B、Cの3段階評価です。学年末には5段階評価もあります。

3 授業展開と形態方法

教科書を中心に授業を進行していくが、文法項目等の学習は予習・復習を前提とする。授業では生徒自身が自分の考えや意見などを積極的に発表する活動を行う。

対象教科	単位数	学年
英語コミュニケーションⅡ	3	2

### 1. 学習の到達目標

<b>学習の到達目標</b>	<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用し、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li> <li>必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li> <li>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。</li> <li>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</li> <li>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</li> </ol>
<b>使用教科書、副教材など</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION II」(東京書籍)</li> <li>「ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION II 本文学習ノート」(東京書籍)</li> </ul>

### 2. 観点及びその趣旨

#### ① 知識・技能

[知識] 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。

[技能] 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、1年で学んだスキルを活かしながら、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。

#### ② 思考・判断・表現

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。

#### ③ 主体的に学習に取り組む態度

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて自分の考えを伝え合おうとしている。

### 3 評価方法

授業時のリスニング・リーディング・スピーキング(やり取り)・スピーキング(発表)・ライティング、定期考査、提出物

### 4. 評価規準

※評価の基準

知識・技能： 思考・判断・表現： 主体的に学習に取り組む態度

1

1

1

- ①言語活動の取り組み状況観察（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
- ②パフォーマンステスト【Unit Activity の発表、ライティング、Speaking Review Task 】（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
- ③上記課題等の提出（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度）
- ④小テスト、中間・期末考査（知識・技能、思考・判断・表現）

学期の評価は、A、B、C の 3 段階評価です。 学年末には 5 段階評価もあります。

対象教科・科目	単位数	学年
論理・表現Ⅱ	2	2

1 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。 2. コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 3. 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
使用教科書	・CROWN Logic and Expression II (三省堂) ・CORPUS CROWN Logic and Expression II サブノート(三省堂) ・Bright Stage 英文法・語法問題

2 観点及びその趣旨

① 知識・技能

〔知識〕外国語の特徴やきまりに関する事項を理解している。

〔技能〕コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝え合う技能を身につけている。

② 思考・判断・表現

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりしている。

③ 主体的に学習に取り組む態度

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて伝え合おうとしている。

3 評価方法

授業時のリスニング・リーディング・スピーキング（やり取り）・スピーキング（発表）・ライティング  
定期テスト

4. 評価規準

※評価の基準

知識・技能： 思考・判断・表現： 主体的に学習に取り組む態度

1 1 1

①言語活動の取り組み状況観察（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

②パフォーマンステスト【プレゼンテーション、スピーチ、英語での会話、ライティング】

（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

③上記課題等の提出（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度）

④小テスト、中間・期末考査（知識・技能、思考・判断・表現）

学期の評価は、A、B、Cの3段階評価です。 学年末には5段階評価もあります。

3 授業展開と形態方法

教科書を中心に授業を進行していくが、文法項目等の学習は予習・復習を前提とする。授業では生徒自身が自分の考えや意見などを積極的に発表する活動を行う。

# 令和5年度 シラバス

沖縄県立那覇高等学校

科目	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	4	対象学年	3	対象学科	普通科
使用教科書	FLEX English Communication III (増進堂)			副教材等	同教科書準拠Workbook、Reading Flash 3 Listening Laboratory Advanced		

学習の到達目標	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばし、社会生活において活用できるようにする。</p> <p>具体的言語活動は次の通り。</p> <p>ア. 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ. 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p>
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価の観点			
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	b. 外国語表現の能力	c. 外国語理解の能力	d. 言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。
<b>成績評価</b> (1) 定期考査の成績 定期考査においては、知識・理解に偏ることなく、コミュニケーション能力や表現力を見るための問題も出題する。 (2) 学習態度等の平常点 ① 各単元や各時限などの学習過程で、生徒の良い点や、進捗状況などを評価する。 ② 週末課題やその他の課題の提出状況・演習テスト・小テストの成績も評価する。			

年	月	種	学習項目	学習内容	評価の方法				
					a	b	c	d	
1 学期	4 月	1 学期 中間 考査	Lesson 1 Mr. Price Meets Jakuchu	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代や地域を隔てた人々の出会いが現代にもたらす影響を考えさせる。</li> <li>不定詞の意味上の主語、倒置の表現を理解させ、それを用いて表現させる。</li> <li>人と人の出会いがもたらす影響について、ディスカッションさせる。</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業での取り組み</li> <li>課題などの提出状況</li> <li>評価問題</li> </ul>
			Lesson 2 Cleaning the Oceans: One Young Man's Dream	<ul style="list-style-type: none"> <li>海のごみが私たちの生活に及ぼす影響やスラットの計画の詳細について読み取らせる。</li> <li>分詞構文、仮定法の表現を理解させ、それを用いて表現させる。</li> <li>海のごみがなぜ良くないのか、アウトプット活動をさせる。</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業での取り組み</li> <li>課題などの提出状況</li> <li>評価問題</li> </ul>
	5 月	1 学期 期末 考査	Lesson 3 The Value of Practice: Ten Thousand Hours to Mastery	<ul style="list-style-type: none"> <li>エリクソンが行った実験の詳細とその結果を読み取らせる。最も驚くべき点は何だったのかを把握させる。</li> <li>過去完了や省略の表現を理解させ、それを用いて表現させる。</li> <li>練習の重要性に関する体験談をディスカッションさせる。</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業での取り組み</li> <li>課題などの提出状況</li> <li>評価問題</li> </ul>
			Lesson 4 In Defense of Zoos	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物園が生物多様性の喪失を阻止する上で重要な役割を果たしていることを理解させ、科学的研究の側面から動物園の価値について読み取らせる。</li> <li>部分否定・全否定、前置詞+関係代名詞の表現を理解させ、それを用いて表現させる。</li> <li>本文の内容に合ったテーマに基づいて、アウトプット活動をさせる。</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業での取り組み</li> <li>課題などの提出状況</li> <li>評価問題</li> </ul>
	6 月	期 末 考査	Lesson 5 Facing Your Marshmallow Problem	<ul style="list-style-type: none"> <li>人の決断に関わる2つのシステムを紹介し、それらがどのように私たちの感情や行動を左右しているのかを正確に読み取らせる。</li> <li>関係詞 what と名詞構文の表現を理解させ、それを用いて表現させる。</li> <li>日常生活の中で目の前の誘惑を克服するための方法について、ディスカッションさせる。</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業での取り組み</li> <li>課題などの提出状況</li> <li>評価問題</li> </ul>

# 令和5年度 シラバス

沖縄県立那覇高等学校

月 日	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法	
1学期の評価方法		<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績, ②Lesson 1～5の各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。						
7月	2学期中間考査 Lesson 6 Eco-friendly Farming of Bluefin Tuna	・マグロの完全養殖を実現する上で研究者たちが直面した困難を読み取らせ、目標を達成するために何が大切なのかを考えさせる。 ・句や節を先行詞とする関係代名詞の which の表現, 強調構文を理解させ、それを用いて表現させる。 ・マグロの完全養殖成功によって、今後どのような展望が考えられるかをディスカッションさせる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題	
8月	2学期期末考査 Lesson 7 s from History of Easter Island – Mistakes We Should Not Repeat	・私たちの生きる現代社会とイースター島の歴史との関連を読み取らせる。 ・関係副詞, 助動詞+have+過去分詞の表現を理解させ、それを用いて表現させる。 ・環境破壊を食い止めるために何ができるのかについて議論させる。	○		○	○		
9月		Lesson 8 Life Without Magic	・「ハリー・ポッター」を出版するまでにJ・K・ローリングがどんな苦勞をしたのかを理解させる。 ・J・K・ローリングが「ハリー・ポッター」を通じて私たちに伝えようとしたことについて考えさせる。 ・不定詞の結果用法, 関係副詞の非制限用法を理解させ、それを用いて表現させる。 ・J・K・ローリングからのメッセージについて考えたことをディスカッションさせる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
10月	2学期期末考査	Lesson 9 A Brief History of Human	・人間とチンパンジーにおける「協力」の違い, 人間とほかの生物を隔てる「想像力」について理解させ、「想像力」が現代社会で果たしている役割を宗教, 法律, 政治, 経済といった観点から整理させる。 ・be to do, if 節のない仮定法の表現を理解させ、それを用いて表現させる。 ・人間の「想像力」がもたらす産物の良い例と悪い例について、ディスカッションさせる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
11月		Lesson 10 Happiness Is a Journey	・筆者がこれまでどんな生き方をしてきたのかを読み取らせ、デンマークでの出来事以来、筆者の生き方がどのように変わったのかを理解させる。 ・二重否定, 無生物主語構文の表現を理解させ、それを用いて表現させる。 ・自分にとって幸福とは何かを意見交換させる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
2学期の評価方法		<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績, ②Lesson 6～10の各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。						
12月	共通テスト演習	共通テスト型問題（筆記・リスニング）を単元別、体系的に演習する。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況	
3学期	1月	共通テスト演習	共通テスト型問題（筆記・リスニング）を単元別、体系的に演習する。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況
	2月	進路別学習	それぞれの受験対策を行う。受験科目に英語がない生徒は、故郷について英語で表現できることを目標に「沖縄についての英語の読み物」を読む。	○	○	○	○	・授業での取り組み
第3学期の評価方法		<評価の対象> ①授業への取り組みの様子, ②課題の提出状況と解答内容						
学年の評価方法		①コミュニケーションへの関心・意欲・態度, ②外国語表現の能力, ③外国語理解の能力, ④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。						

## 県立那覇高等学校 2023年度【英語表現Ⅱ】シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
英語表現Ⅱ	3	3	全	必修	普通科（文系）

### 1. 科目の概要及び目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

### 2. 成績評価（概要）

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度，②外国語表現の能力，③外国語理解の能力，④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。具体的には、定期考査を基本として、授業への取り組みの様子、課題の提出状況、小テストの結果等を加味する。

### 3. 使用教科書・補助教材

教科書・・・ Vision Quest English Expression II Ace

副読本・・・ Vision Quest English Expression II Ace NEW WORKBOOK

### 4. 授業の展開と形態

週3時間の授業を2クラス3展開、3クラス4展開で実施する。

### 5. 学習方法

基本として教科書の文章を暗唱し、実際の会話や英作文に役立つ語彙、表現、文法等を身につける。さらに、パラグラフの構成と文章の要約について学ぶことにより、学んだことや経験したことに基づいて、情報や考えなどをまとめ、発表できるようになる。ペアワークやグループワークを通して、質問や意見交換を行う。

## 県立那覇高等学校 2023年度【実践英語Ⅱ】シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
実践英語Ⅱ	2	3	全	選択	普通科（理系）

### 1. 科目の概要及び目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

### 2. 成績評価（概要）

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②外国語表現の能力、③外国語理解の能力、④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。具体的には、定期考査を基本として、授業への取り組みの様子、課題の提出状況、小テストの結果等を加味する。

### 3. 使用教科書・補助教材

教科書・・・ Vision Quest English Expression II Ace

副読本・・・ Vision Quest English Expression II Ace NEW WORKBOOK

### 4. 授業の展開と形態

週2時間の授業を理系選択1クラスで実施する。

### 5. 学習方法

基本として教科書の文章を暗唱し、実際の会話や英作文に役立つ語彙、表現、文法等を身につける。さらに、パラグラフの構成と文章の要約について学ぶことにより、学んだことや経験したことに基づいて、情報や考えなどをまとめ、発表できるようになる。ペアワークやグループワークを通して、質問や意見交換を行う。

県立那覇高等学校 令和5年度文系B選択 「上級英語」 シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
上級英語	2	3	全	選択	普通

1. 科目の概要及び目標

共通テスト入試を中心に、国公立及び私立受験の生徒を対象とする。共通テスト試験・各大学個別試験に対応できる力をつける。読解力、語彙力、文法能力、リスニング力を万遍なく身につける。速読用と長文用の問題集を組み合わせた様々なタイプの問題を読み解き目的に合わせて必要な情報を素早く読み取る。またリスニングでは読み上げられる英文を理解するだけでなく、聞き取った情報を複合的に処理する力も育成する。

2. 成績評価（概要）

評価は定期考査を基本とし、日々の授業への参加度なども評価の対象となる。授業への参加とは、授業態度、学習意欲、発表、及び課題等の提出などを指す。

3. 使用教科書・補助教材

- ① READING CORE 3
- ② SKYWARD 2<sup>nd</sup> Edition OCEAN Course 最新入試英語長文 20 選
- ③ 共通テスト 10 分リスニングプレート

4. 授業の展開と形態

週 2 時間の授業とし、3 年普通科の選択科目を 3 クラスで実施する。

5. 学習方法

週 1 時間は「READING CORE 3」と「共通テスト 10 分リスニングプレート」を使用し共通テスト対策を中心に行う。もう 1 時間は SKYWARD OCEAN course 2<sup>nd</sup> Edition を使用し国公立 2 次対策と私立大学入試対策として授業を行う。

6. その他（履修上の注意） 特になし。